

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公開番号】特開2000-208184(P2000-208184A)

【公開日】平成12年7月28日(2000.7.28)

【出願番号】特願平11-3890

【国際特許分類第7版】

H 0 1 R 12/22

B 4 1 J 29/00

【F I】

H 0 1 R 23/68 P

B 4 1 J 29/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月12日(2004.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

金属板を少なくとも打ち抜き加工して製造され、ハウジングに支持される複数のコンタクトの各々が、平行配置される一对の部材のそれぞれに弾性接触する一对の接触アームを有し、前記複数のコンタクトを介して前記一对の部材間を電氣的に接続可能なコネクタにおいて、

前記複数のコンタクトは、前記ハウジング内を垂直方向に分割する水平隔壁に対して前記ハウジングの一端壁面側から圧入して並列配置されるように固定され、対向側には前記複数のコンタクトの配列方向の両端に位置する両側壁及び前記水平隔壁に結合されて延びる連続端壁が設けられ、前記水平隔壁によって分離された少なくとも一側で前記一对の接触アームの長さ方向にわたって前記水平隔壁との間に略水平方向に延びる空間が設けられることを特徴とするコネクタ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【課題を解決するための手段】

本発明は、金属板を少なくとも打ち抜き加工して製造され、ハウジングに支持される複数のコンタクトの各々が、平行配置される一对の部材のそれぞれに弾性接触する一对の接触アームを有し、前記複数のコンタクトを介して前記一对の部材間を電氣的に接続可能なコネクタにおいて、前記複数のコンタクトは、前記ハウジング内を垂直方向に分割する水平隔壁に対して前記ハウジングの一端壁面側から圧入して並列配置されるように固定され、対向側には前記複数のコンタクトの配列方向の両端に位置する両側壁及び前記水平隔壁に結合されて延びる連続端壁が設けられ、前記水平隔壁によって分離された少なくとも一側で前記一对の接触アームの長さ方向にわたって前記水平隔壁との間に略水平方向に延びる空間が設けられることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

図1によれば、水平板部73は溝31に略相補的な寸法を有する。これにより接触アーム71は隔壁52又は両側壁53と干渉してそのぶれが防止され、逆に隔壁52の少なくとも一方向の撓みがコンタクト60との干渉によって阻止される。また図4及び図5によれば、水平板部73はハウジング20内部の水平隔壁27の上面54に略接触する位置に置かれる。これにより、接触アーム71が相手部材と接触するときに受ける力の一部をハウジング20の水平隔壁27に分散させることが可能となる。